

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

鋼板加工工場における照明設備の  
更新プロジェクト

排出削減事業者名：大阪スチール株式会社

排出削減事業共同実施者名：一般社団法人低炭素投資促進機構

その他関連事業者名：

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	大阪スチール株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	大阪スチール株式会社 本社工場
住所	〒614-8105 京都府八幡市川口擬宝珠 6-5
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

鋼板加工工場における照明設備の更新プロジェクト

### 2.2 排出削減事業の目的

鋼板加工工場の天井に設置された照明設備を水銀灯（102 台）から LED 照明設備（78 台）に更新する。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既設の水銀灯から LED 照明設備に更新することでエネルギー消費量を削減し、CO2 排出量を削減する。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

排出削減事業計画の 7. 2 モニタリング対象の QA/QC 「事業実施後の活動量」について、下記の通り変更する。

変更前：本社工場の照明設備の稼働時間について、点灯開始時間と消灯時間を照明設備稼働月報に毎日記録する。

変更後：本社工場の照明設備の稼働時間について、「操業時間」表における操業時間を稼働時間とし、毎日記録する。

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2013年 2月 7日

#### 3.2 モニタリング対象期間

2015年 4月 1日 ～ 2017年 9月 30日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
006	照明設備の更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
エネルギー使用量	工場の操業時間	照明設備の定格電力 (kW)

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

排出削減対象である照明器具は、照明を点灯する工場の操業時間が最も影響を与えるため採用。

#### 4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、大阪スチール株式会社本社工場における照明設備により照明が行われる範囲である。

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合、) 変更理由
$T_{PJ}$	事業実施後の活動量	h	12,217.5	工場操業時間等をもとに算定 紙・電子媒体	
$R_{BL}$	事業実施前の電力使用量原単位	kW	42.330	カタログ値をもとに算定。 紙媒体	
$R_{PJ}$	事業実施後の電力使用量原単位	kW	6.955	カタログ値をもとに算定 紙媒体	
$CO_2F_{electricity,t}$	電力の二酸化炭素排出係数	tCO <sub>2</sub> /kWh	0.000531	J-クレジット制度モニタリング・算定規程 Ver.2.8(H29/4/21) 紙媒体	

## 6 排出削減量の計算

電力に係る二酸化炭素排出係数については、排出削減方法論に定められているため、移行電源二酸化炭素排出係数を適用する。

### 6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
84,973 kWh		0.000531tCO2/kWh	45.1 tCO2
EM <sub>PJ</sub>			45.1 tCO2

### 6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
517,167kWh		0.000531tCO2/kWh	274.6 tCO2
EM <sub>BL</sub>			274.6 tCO2

### 6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
LE			0 tCO2

### 6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EM<sub>BL</sub></i>	274.6 tCO2
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EM<sub>PJ</sub></i>	45.1 tCO2
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0 tCO2
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	229 tCO2

## 7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン-実績 (①-②)
133.0	21.9	111.1

$$\text{省エネ量} = 133.0 \text{ (kl)} - 21.9 \text{ (kl)} = 111.1 \text{ (kl)}$$

## 8 再生可能エネルギー利用量

なし

	モニタリング期間 ( 年 月 日 ~ 年 月 日 )			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			